

令和6年度 授業改善推進プラン

1. 学力向上を図るための全体計画

<多摩市教育委員会の教育目標>

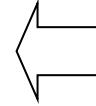
- (1) 子どもたちの生きる力の育成
- (2) 学校・家庭・地域の連携・協働の拡充
- (3) 豊かな地域づくりに向けた学びの支援



<本校の教育目標>

21世紀は、共生と創造の時代
 社会の変化に柔軟に対応できる、個性的豊かな人材を育成するために、生徒一人一人に「生きる力」をはぐくむ。また、環境や資源を守り、世界の平和を願う信念を培うとともに、豊かに成長することを願い、次の教育目標を定める。

- 慈愛 ○自主・自律 ○創造

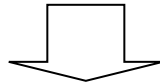


- 生徒の実態
- 保護者や地域の願い
- 教職員の願い
- 時代や社会の要請
- 家庭や地域の実態



<校長の学校経営方針> (学力向上に関して)

- 生徒相互の学び合いなどの主体的・対話的な活動や、課題解決型授業などを取り入れ、わかる授業、楽しい授業、記憶に残る授業を行い、確かな学力を身につけさせる。
- 習熟度別指導、ICTの活用などを取り入れた授業改善を図る。
- 教科カウンセリングを通じて、自らの学習課題を認識させ、家庭学習の習慣化を図る。



生徒一人一人に「確かな学力」を育成するために

- 1 生徒の実態を把握した上で、基礎学力の向上を図る。
- 2 魅力ある授業を展開し、自ら考え、主体的に取り組む生徒を育成する。
- 3 指導計画・方法や評価計画を改善し、生徒の学習意欲を高める。
- 4 外部の教育力を積極的に活用し、学校生活を充実させる。

これらの手立てによって
 主体的に学習に取り組む態度を養い、将来に向け、豊かな自己実現を図る。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価活動の工夫	校内における研究・研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
①総時数、授業時間の確保 ②学校行事の精選と準備期間や練習時間の見直し ③朝・土曜日の「学習教室」の充実 ④年間を通した朝読書の実施	①国、都の学力調査等による現状把握と改善 ②PTや学生ボランティアによる授業補助 ③数学・英語での少人数授業の実施(数学は習熟度別) ④教科カウンセリングによる家庭学習の習慣化	①きめ細かな評価の実践 ②三者面談や教科カウンセリングにより、生徒の学習意欲の喚起 ③授業や保護者会での評価規準の明示	①適正な評価のあり方についての研究と協議 ②改善プランに研修成果を生かした授業実践と研究 ③特別支援教育「個に応じた指導」の充実のための研修会実施	①地域学校協働本部との連携 ②学校支援ボランティアを活用した学習教室の充実(早朝学習教室、DOKKOI) ③東京ベアリング・ドリルの活用 ④生徒、保護者による授業評価